

(計画・中間・最終)

a 学校教育目標 ふるさとを愛し、 よりよい未来の創り手となる 児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> ○本校や郷土に誇りと愛着をもち、地域社会に感謝・貢献する児童生徒の育成 ○様々な人々と協働して、主体的に問題解決に取り組む児童生徒の育成 <ビジョン> 予測困難な時代に、小中一貫教育を通じてふるさとを愛し、よりよい社会を創るという目標を共有し、防災教育と地域に根ざした主体的な学びを推進し、地域と連携・協働しながら、未来の創り手として必要な資質・能力を育む。
--	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	○逆向き設計シートの活用等により、主体的・対話的に深く学びながら、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりを行う。 ○ふるさと学習・生き方学習の充実により、ふるさとに感謝・貢献しようとする児童を育成する。 ○授業改善、外遊びの推進及び「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」の取組等により、体力を向上させる。 ○業務の精選と効率化の徹底によるボトムアップの働き方改革を推進する。
------------------------------	---

育成すべき資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学ぼうとする態度 感謝・貢献
------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(1年間)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値%	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
** * ◎ 確かな学力	課題発見・解決学習を通して、学力の定着や向上を図る。(まなぶ)	主体的・対話的な授業づくりの工夫により、思考力・判断力・表現力を高める。	○逆向き設計シートの活用等により授業改善を図り、対話的な活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりする場や、学びを振り返る場を設定する。	国語科テスト[読む能力]、算数科テスト[数学的な考え方]の正答率70%以上の児童の割合	80						
		学びの基礎・基本を定着させる。	○単元テストの前に事前テストを行い、個別指導を充実させる。 ○自主勉強リストを基に、児童が自主的に学習に取り組めるようにする。	国語科・算数科の単元テスト期待点以上の児童の割合	80						
** ◎ 豊かな心	感謝と貢献の心を持ち、協働して取り組むことのできる心を育む。(はぐくむ)(つながる)	「時を守り、場を清め、礼を正す」指導による規範意識を育てる。	○パワーアップカードの取組により、自律した学校生活ができるようにする。 ○生活目標について具体的な目標設定をし、学級全体で協力して取り組ませる。	80%以上の児童が目標を達成した日数の割合	80						
		感謝・貢献の心を育てる。	○ふるさと学習・生き方学習により、ふるさとに感謝・貢献しようとする児童を育成する。	児童アンケートで肯定的回答をする児童の割合	95						
* 健やかな体	主体的にかかわり、健やかでたくましい体を育む。(はぐくむ)	体力・運動能力の向上を図る。	○授業改善、外遊びやくれチャレンジマッチスタジアムへのトライ等により、課題のある種目の記録向上を図る。	50m走、立ち幅跳び、上体起こしで、前年度新体力テスト県平均を上回る児童の割合	60						
		防災教育を行い、防災意識を高める。	○自分の命を自分で守るという意識のもと、防災教育を行事や授業の中に位置づけて防災教育を行う。	学習後に、家庭で話題にあげ、話し合った児童の割合	90						
		基本的な生活習慣を定着する。	○体いきいきカードを使って『早寝・早起き・朝ごはん』の定着と『メディアの時間』の約束の徹底を図る。	早寝・早起き・朝ごはんの定着度 メディアの時間の約束の定着度(児童と保護者)	90 70						
業務改善	働き方改革を推進する。教職員の意識改革を図る。	○分掌部会において、業務内容の精選を行う。 ○業務効率化のアイデアを出し、改善しながら業務を進める。	業務改善が進んでいると感じる教職員の割合	80							
			時間外勤務時間の月平均が45時間を越えない教職員の割合	50							

【k:自己評価 評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60